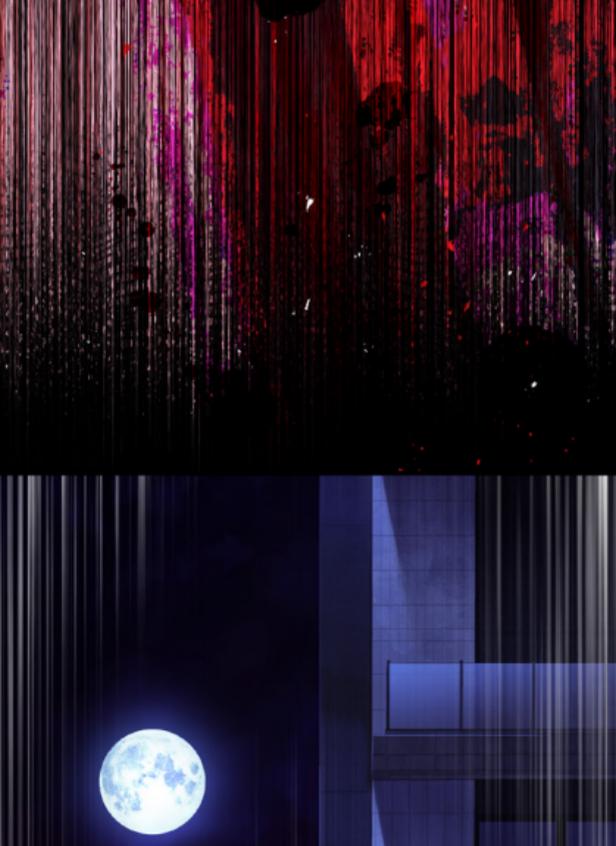


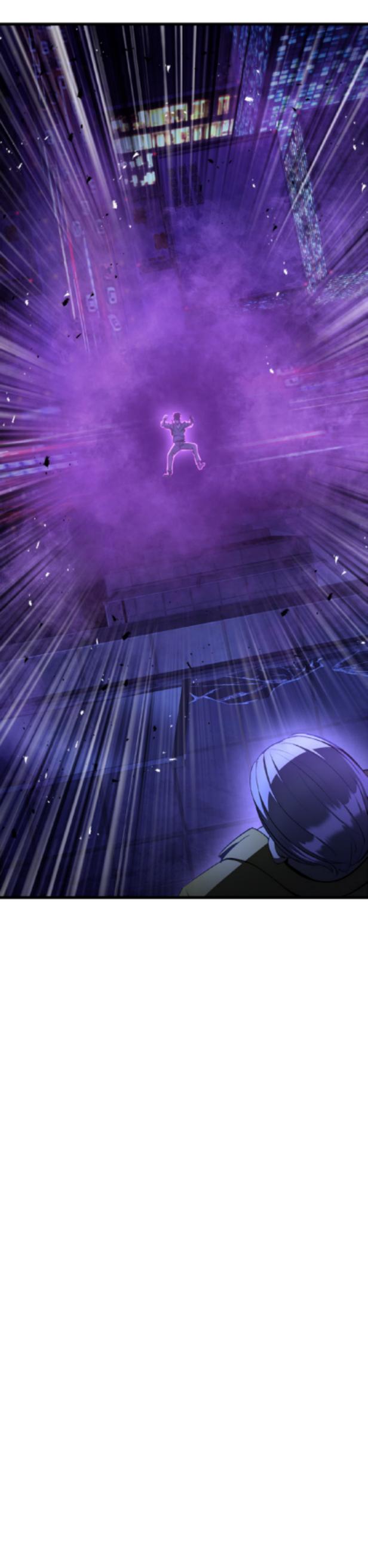
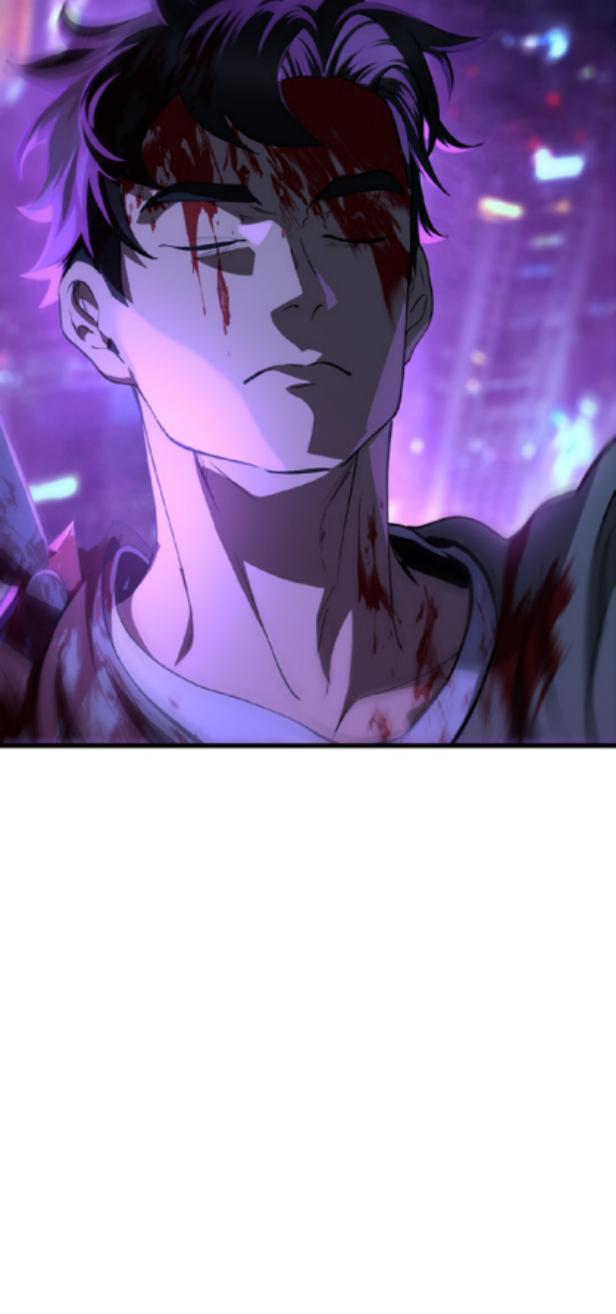
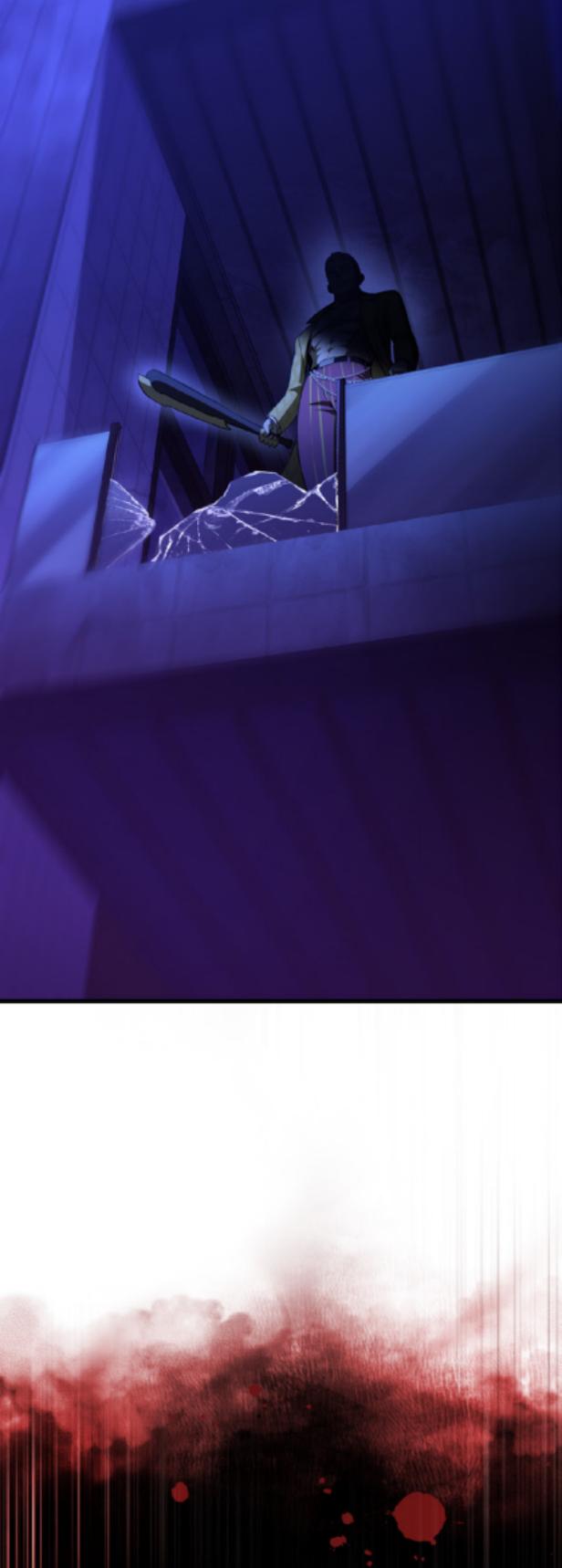


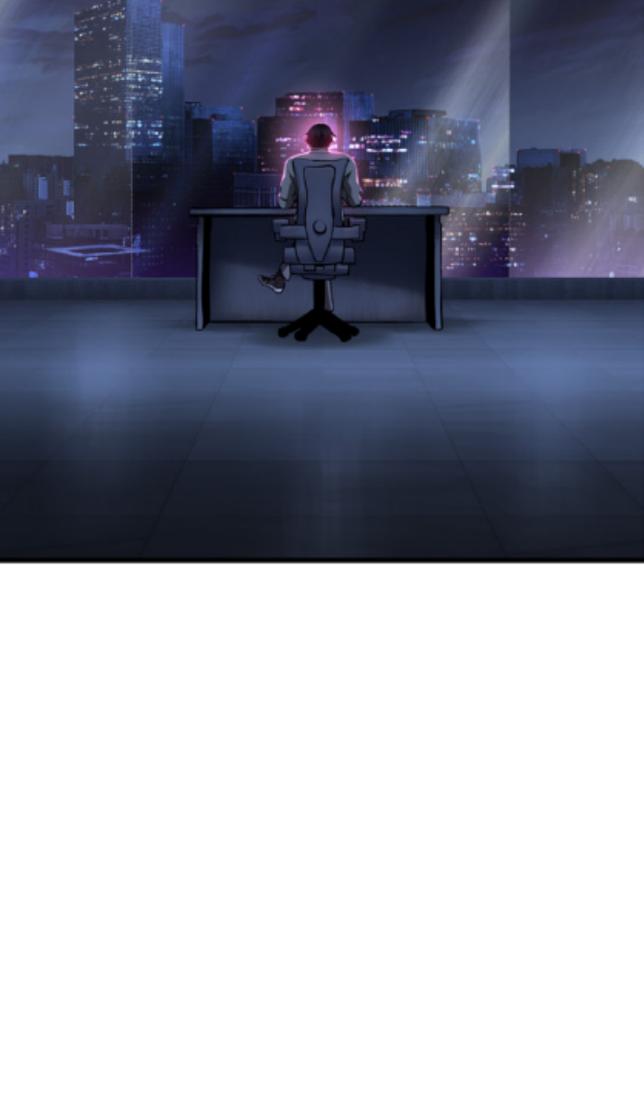
ああ



ああ







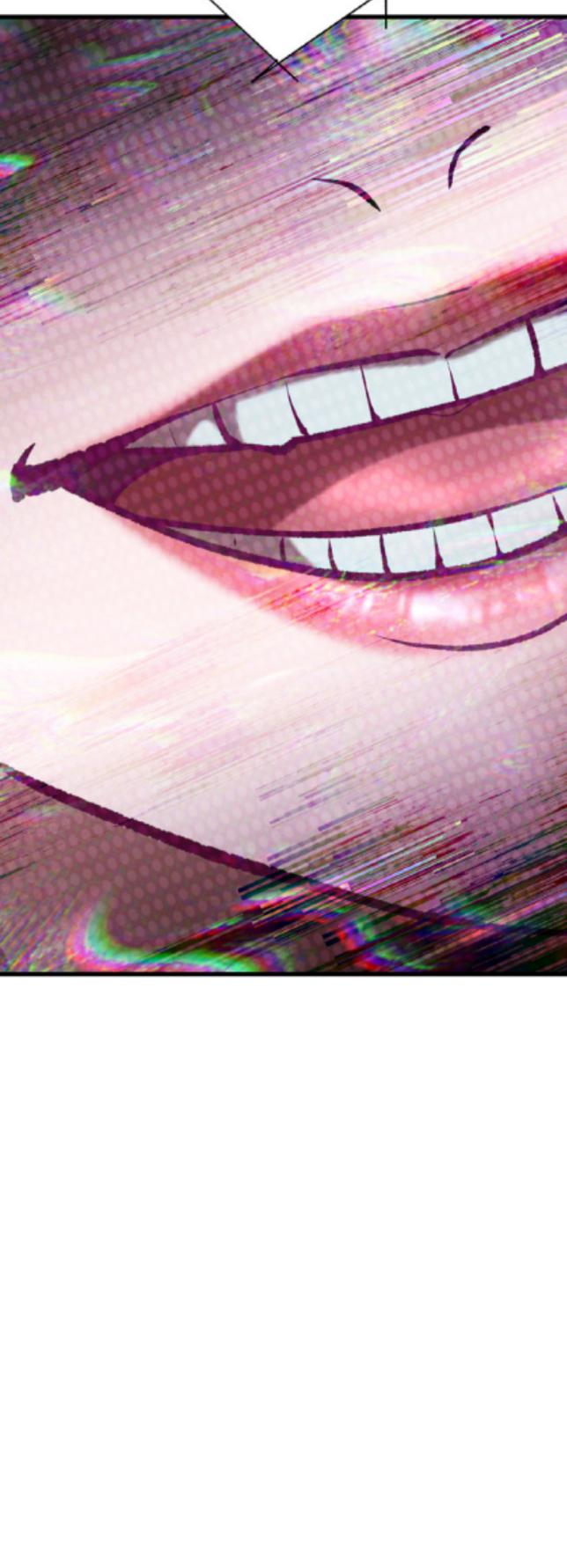
きみの番だ

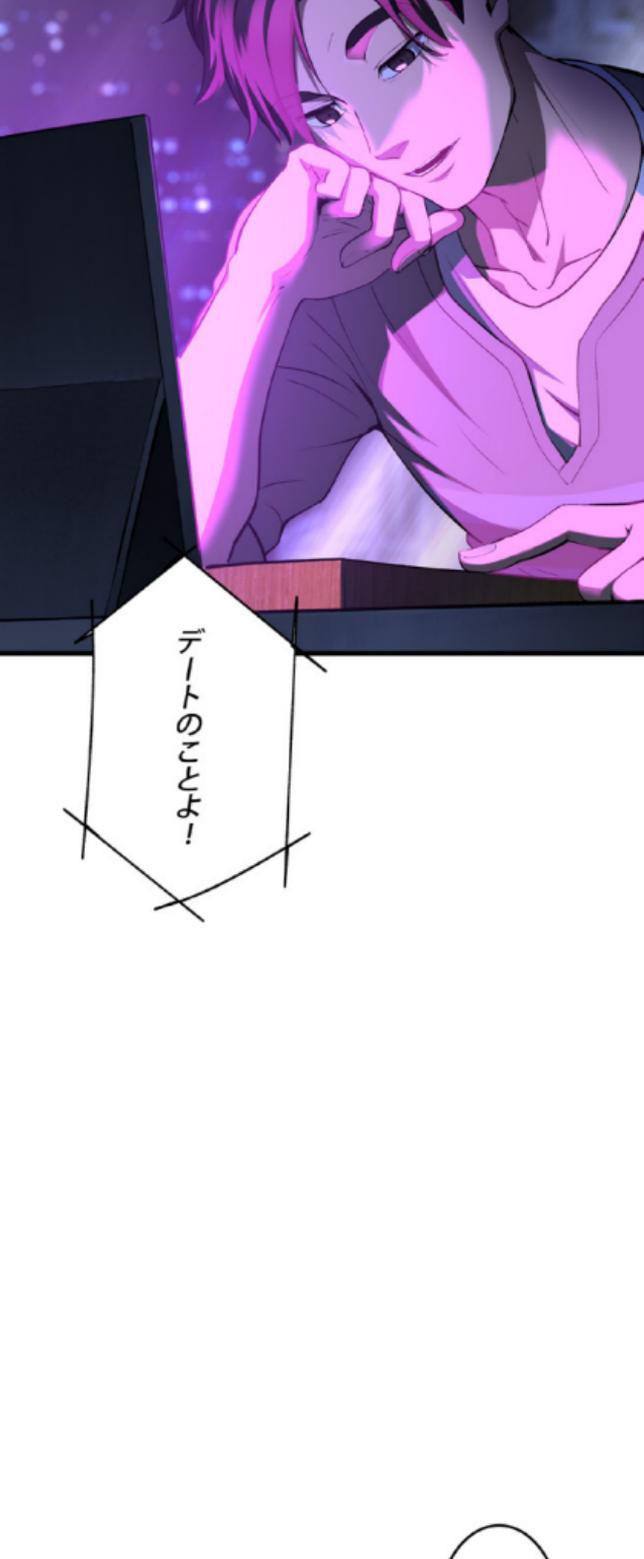


真面目すぎて面白くない...



あのことは話してくれないの？





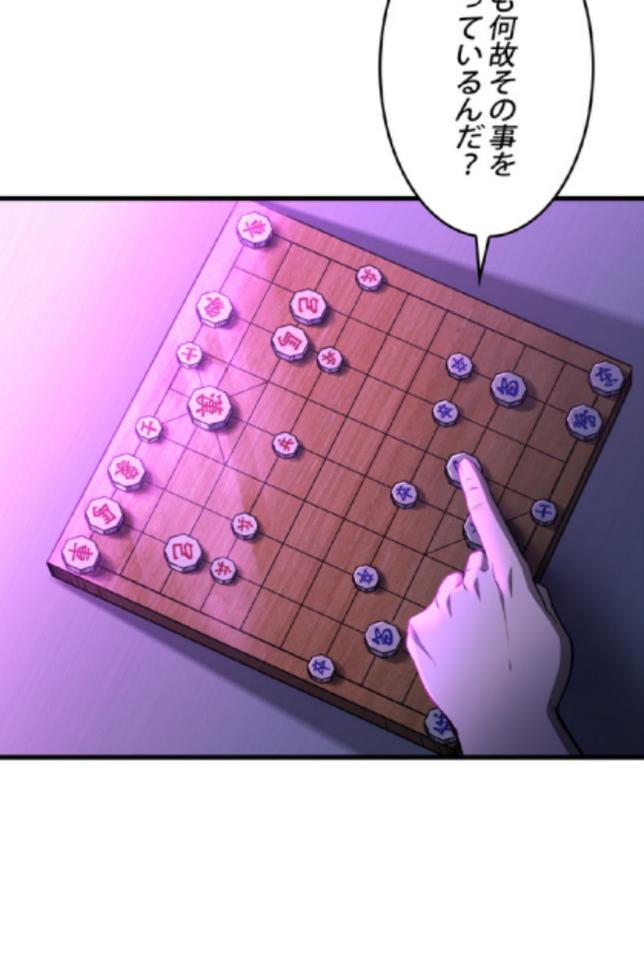
あのこと？

デートのことよ！

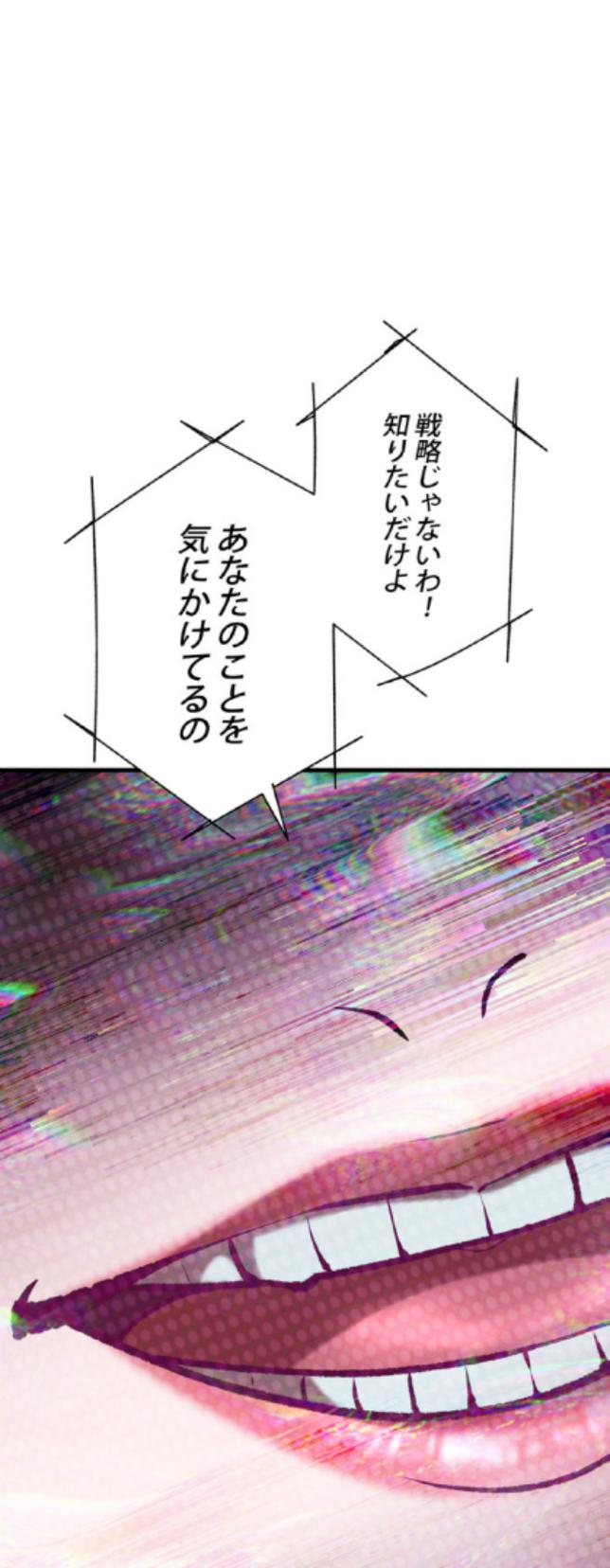


えっ!?

面白い戦略だな

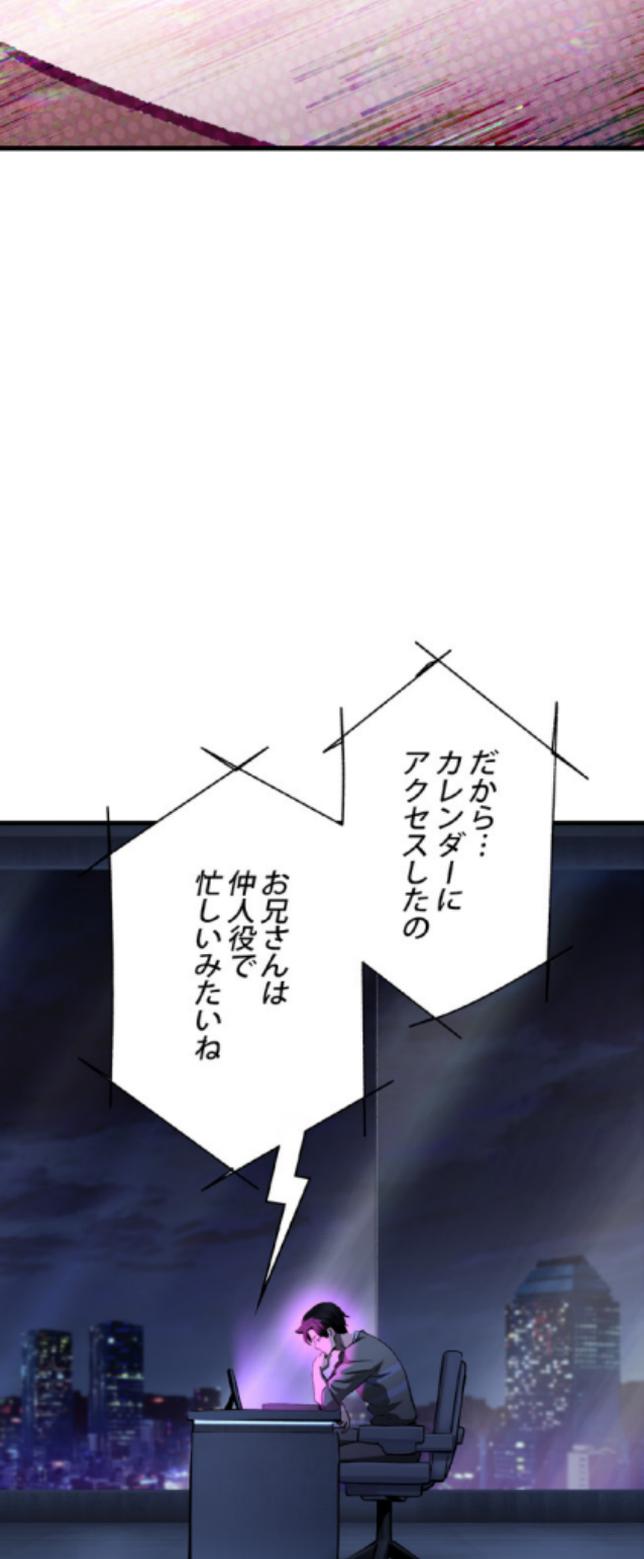


でも何故その事を
知っているんだ？



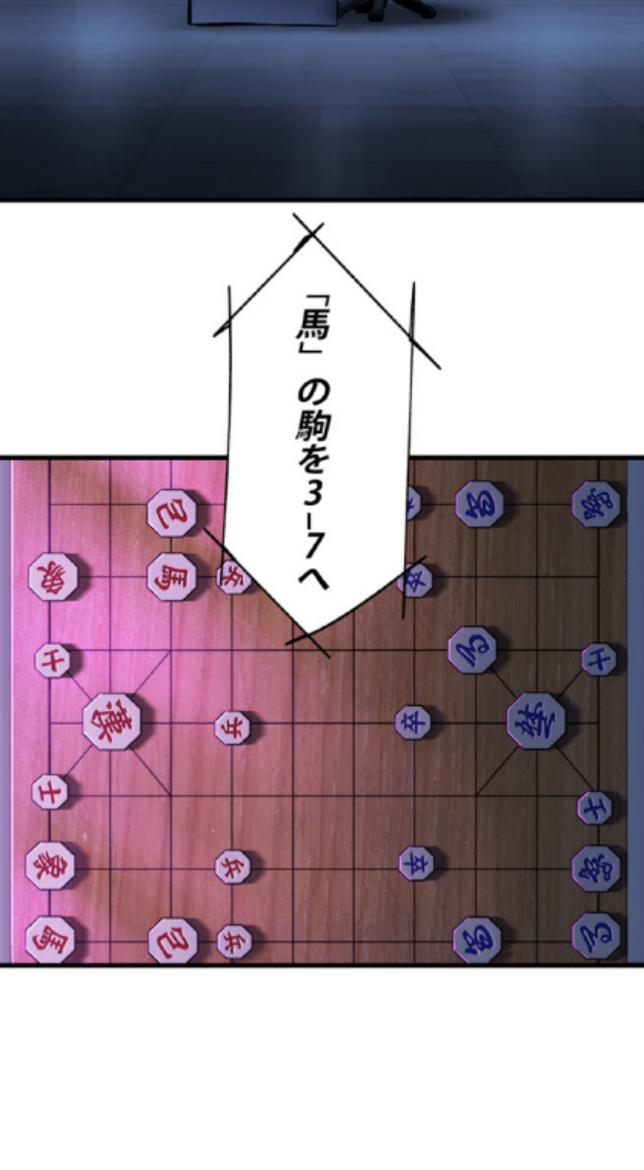
戦略じゃないわ！
知りたいだけよ！

あなたのことを
気にかけてるの

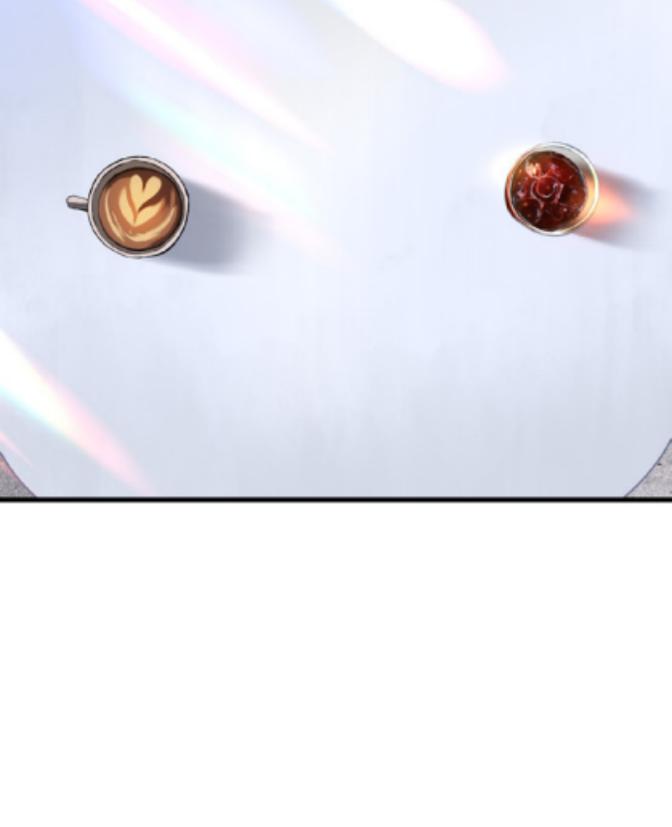


だから…
カレンダーに
アクセスしたの

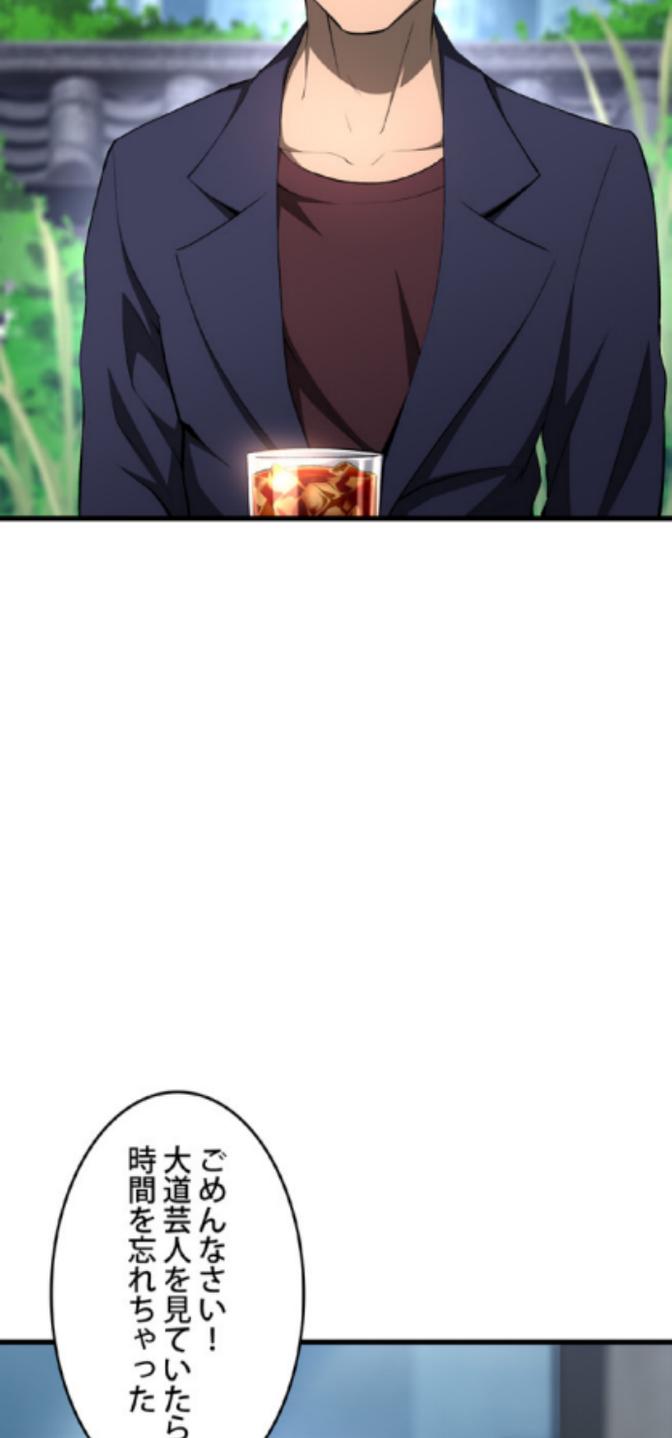
お兄さんは
仲人役で
忙しいみたいね



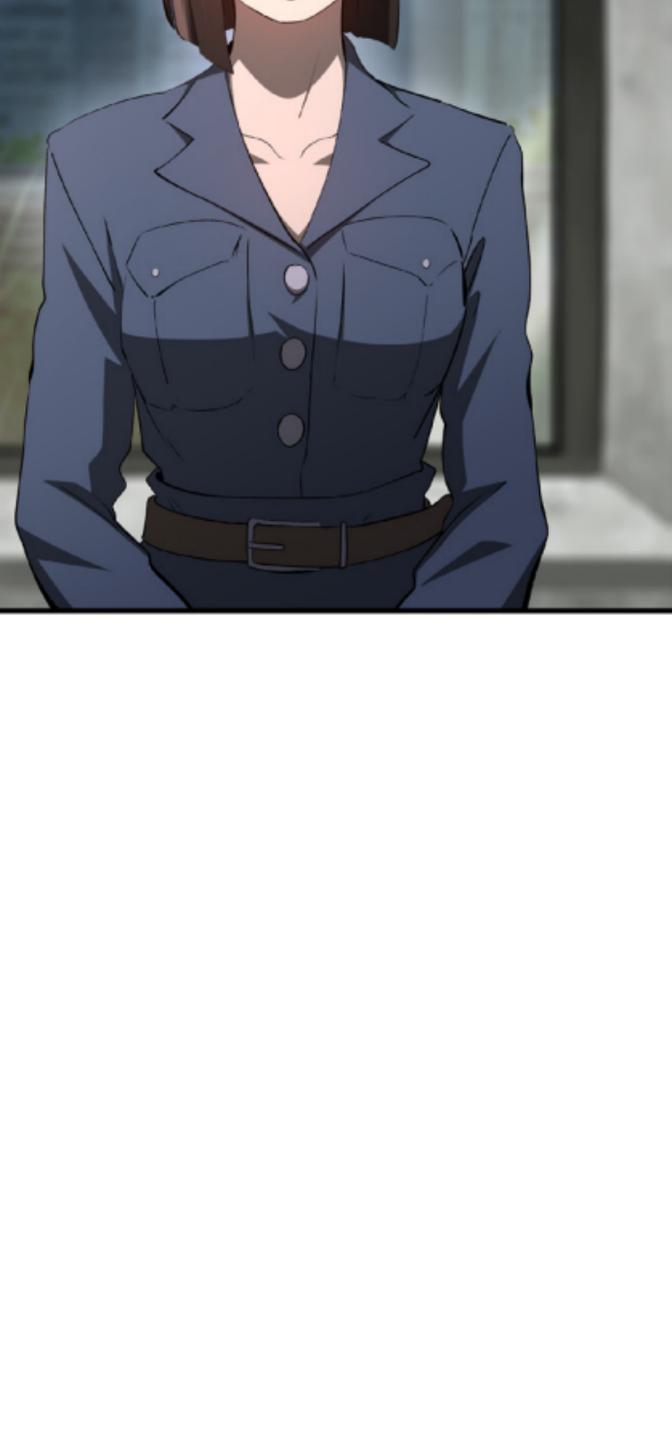
「馬」の駒を3-7へ



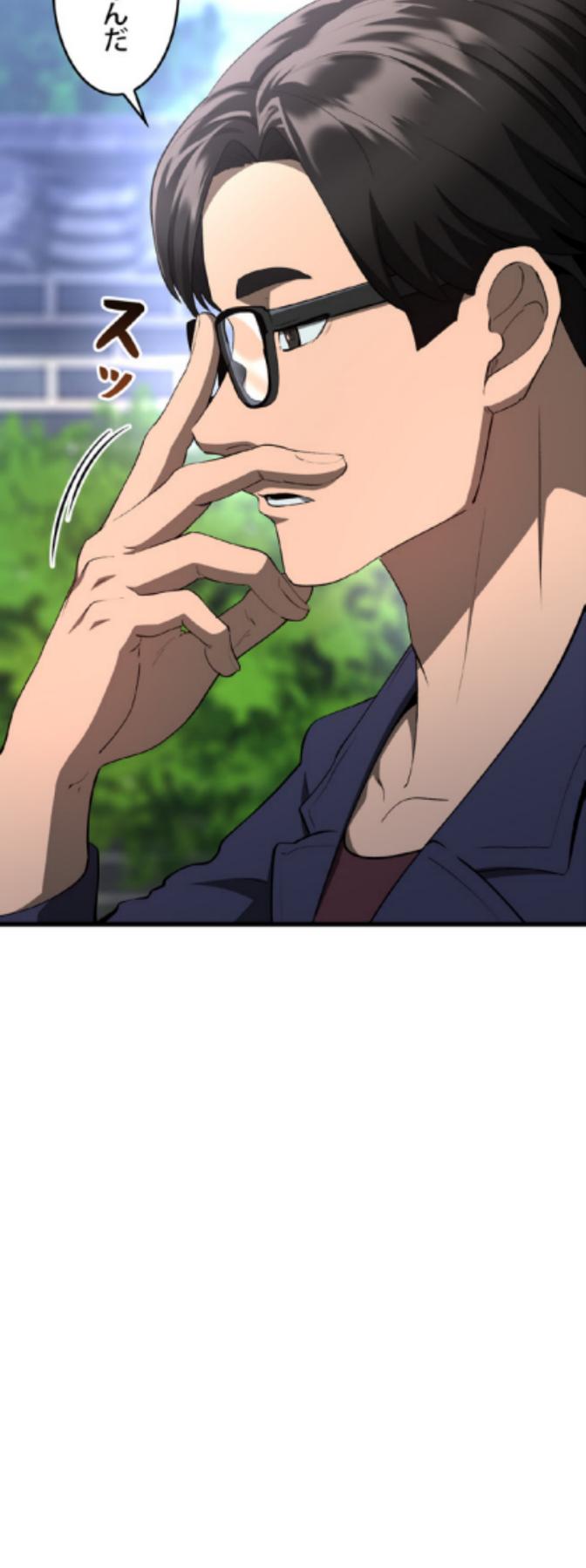
1人目は遅刻してきた…
少しだけ遅刻は遅刻だ



ごめんなさい！
大道芸人を見ていたら
時間を忘れちゃった



そうなんだ



スッ



人生は
楽しめるときに
楽しまなきゃって
思うの



で：
お仕事は
何をしているの？

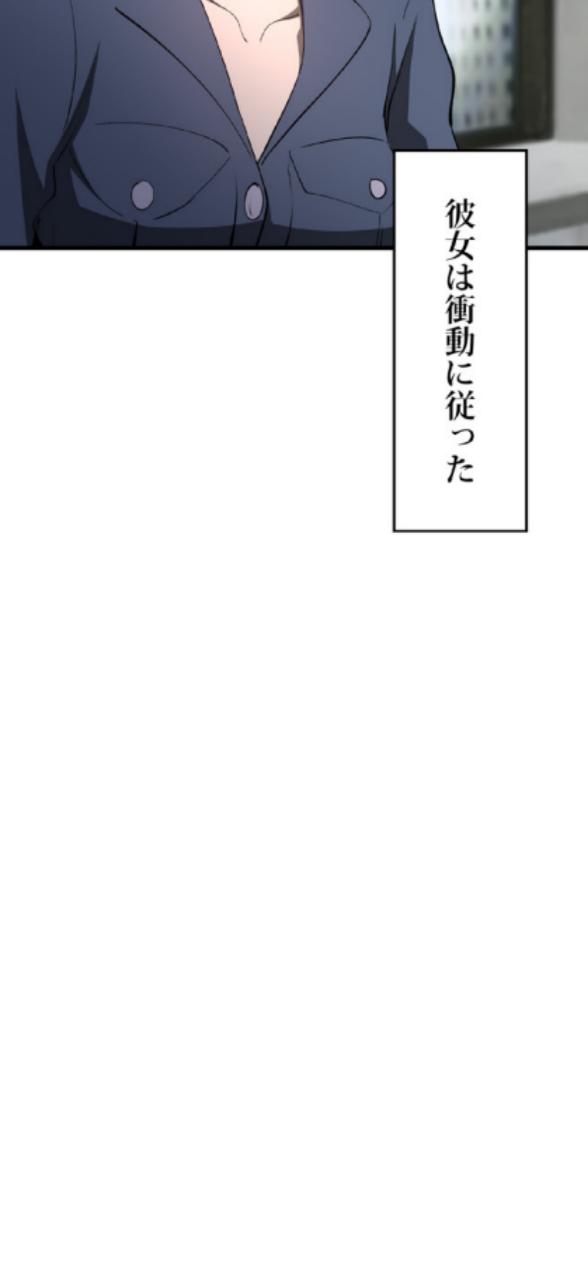


技術開発：
エンターテインメント業界で





ふん…
とても
型にはまった感じね



彼女は衝動に従った



そうじゃないと
いけないんだ

僕は形式に従う



衝動は消えるけど
形式は残るわ
2人目は
どうだった？



関心事の相違





最近は街から
出るようにしているの

……

……



カピヨンの郊外には
大好きな遊歩道が
あるわ

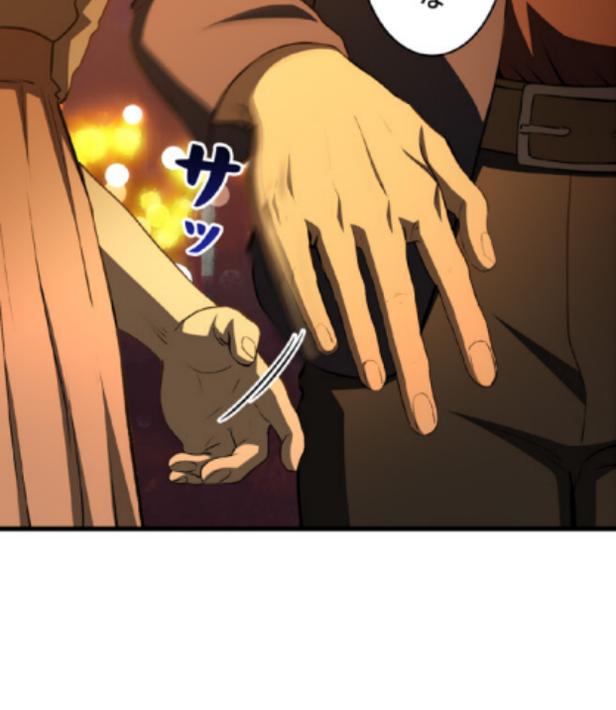
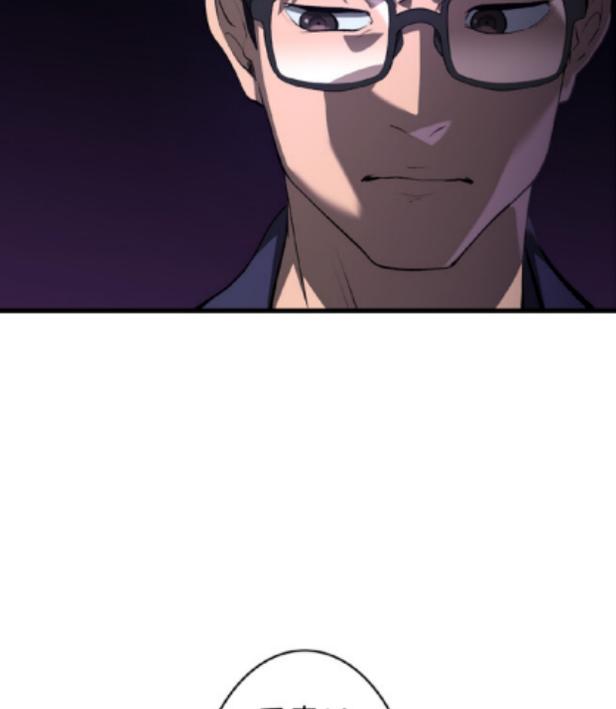
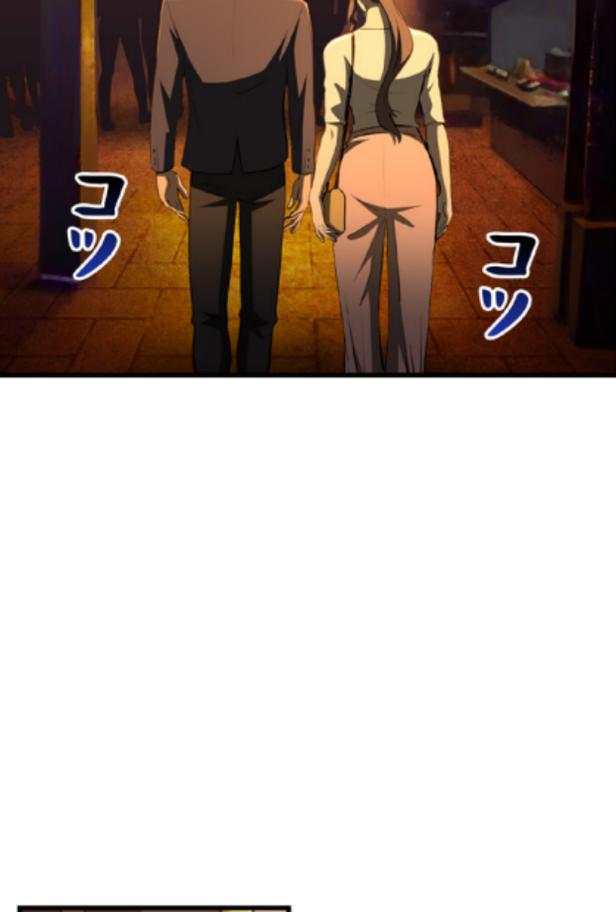
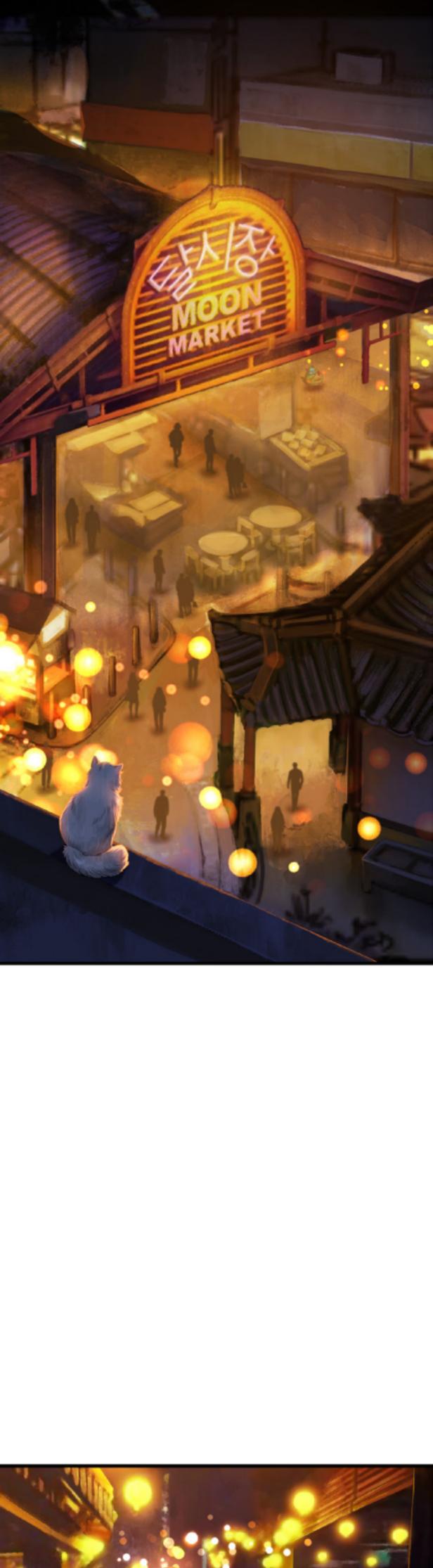


……



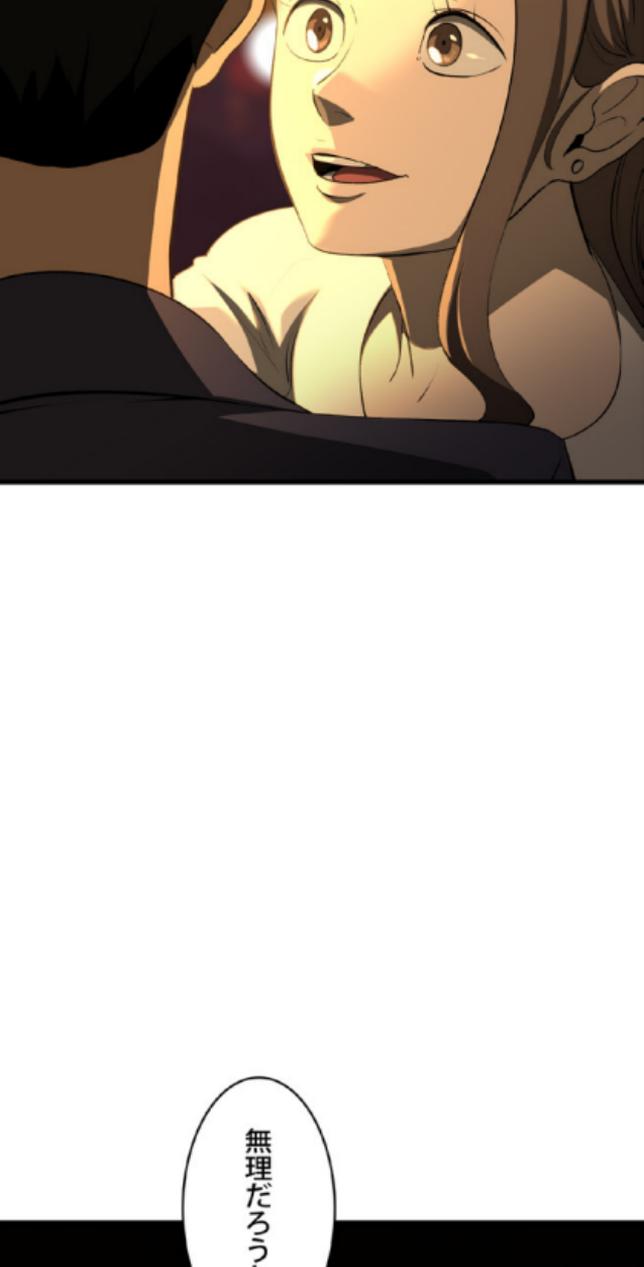
……
よそ者だね

とても静かよ…
自分の考えが
聞こえるぐらい

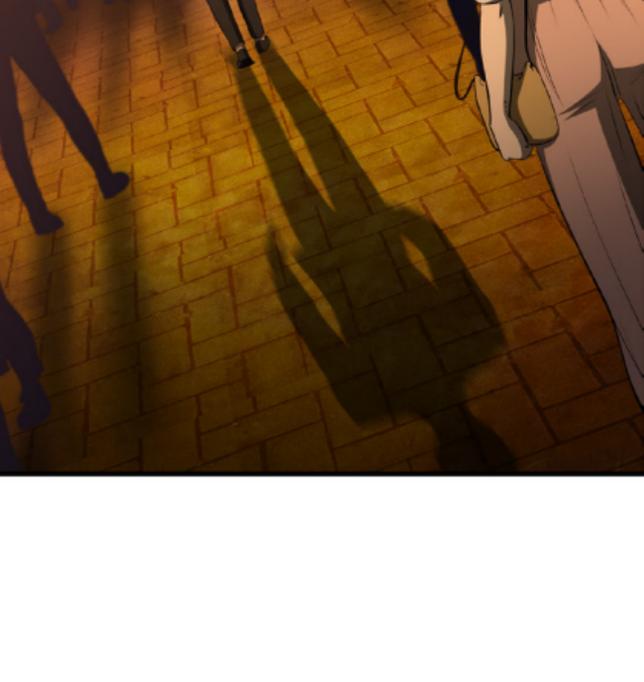




でも慣れるわよ

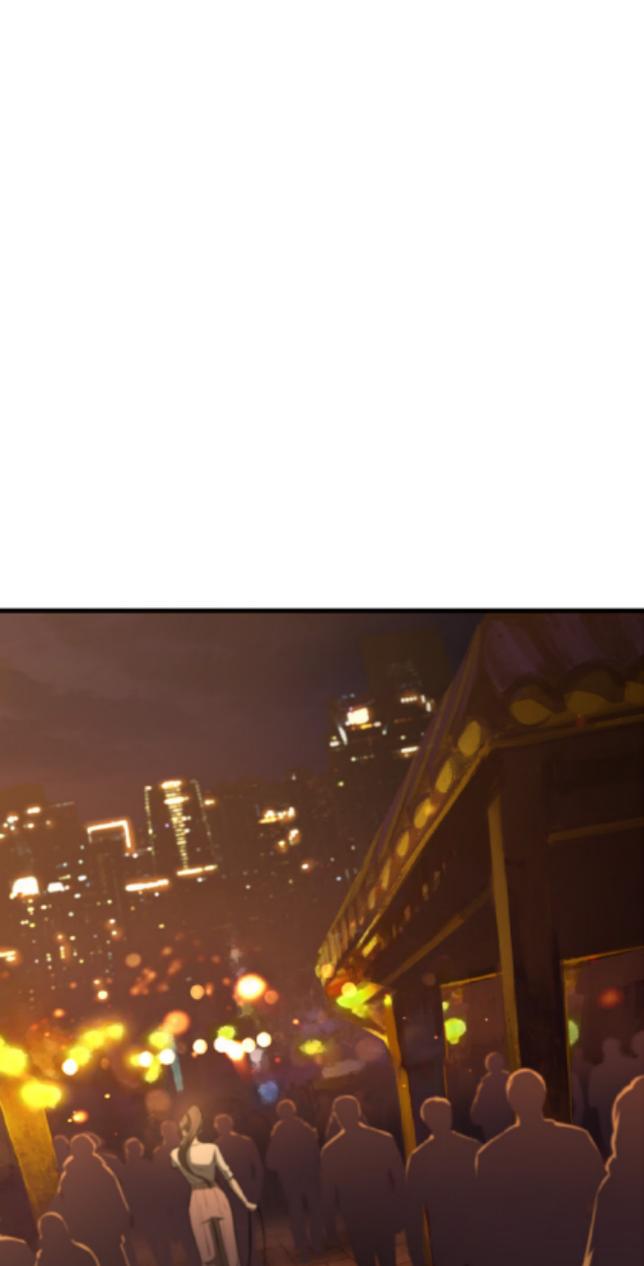


無理だろうな



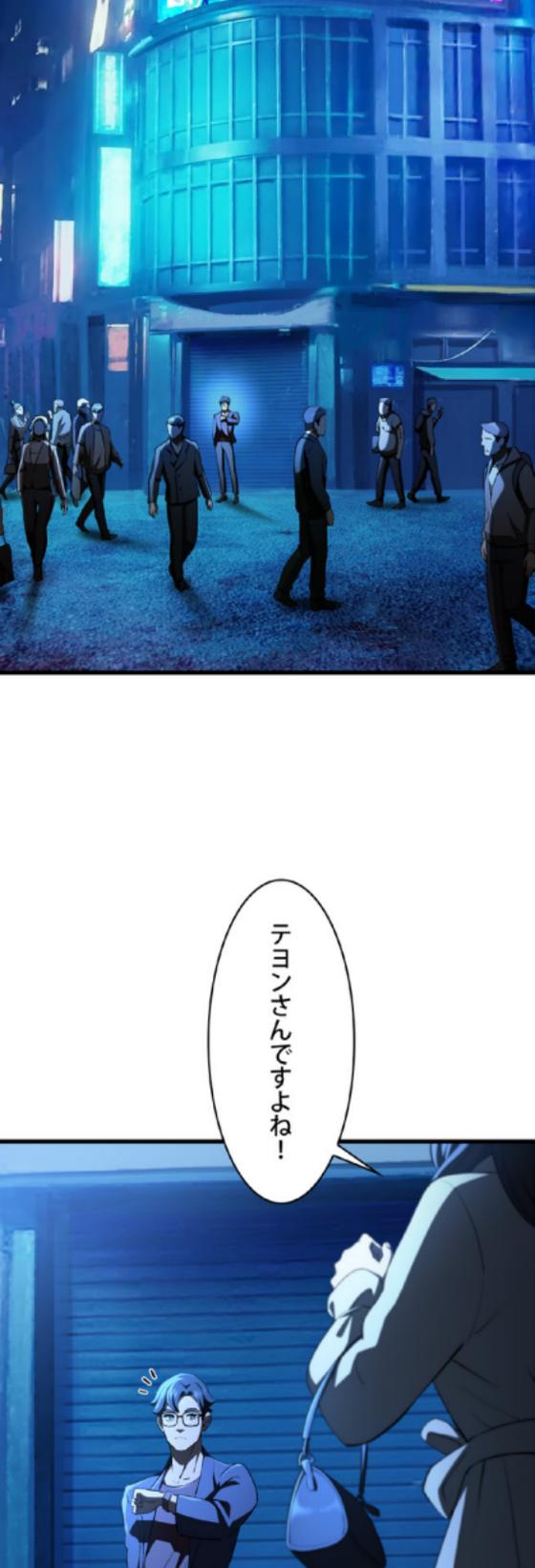
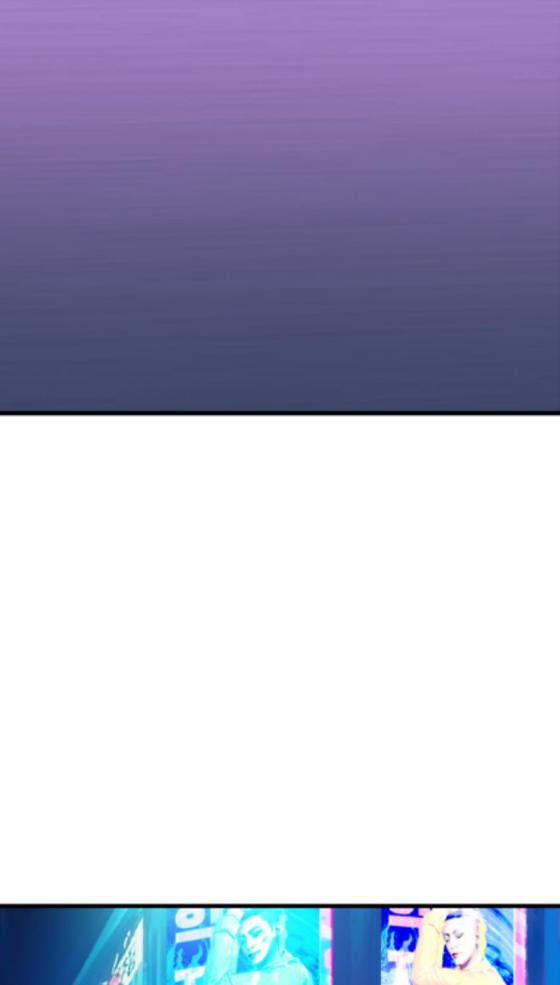
価値観が合わなかった

予想通りね…



コッ
コッ
コッ

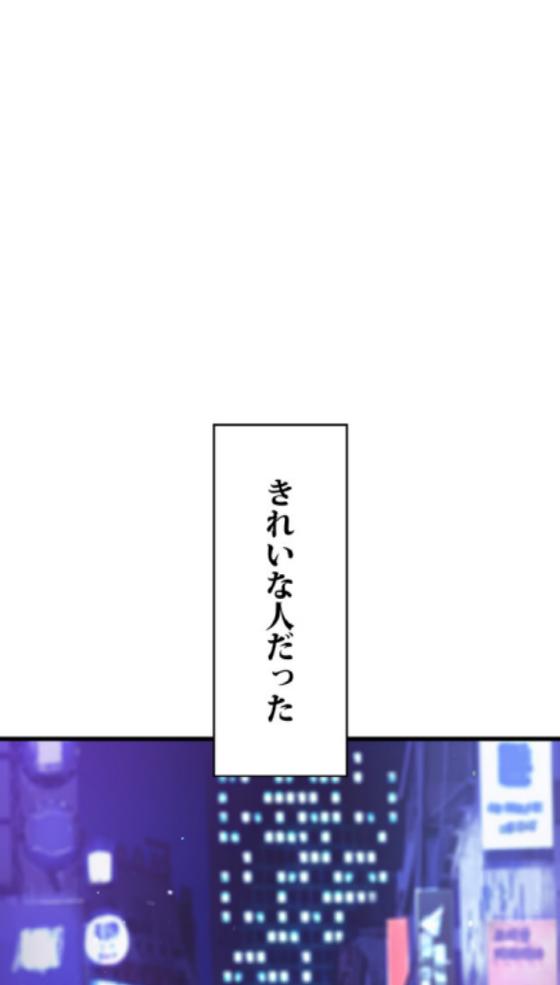
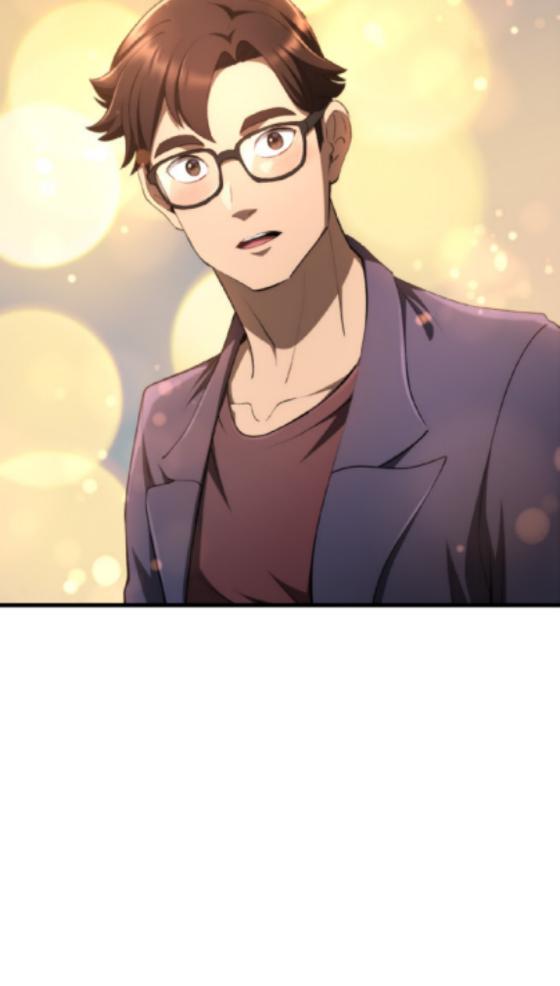
もう一人いたよね？



テヨンさんですよね！



私はウンジです



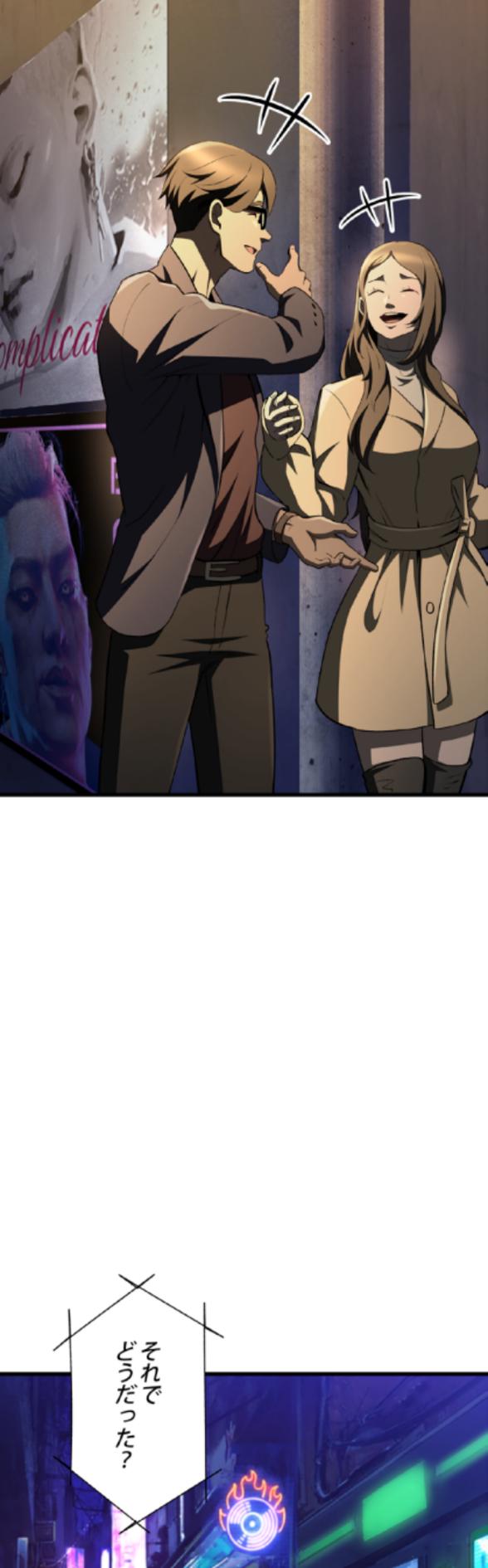
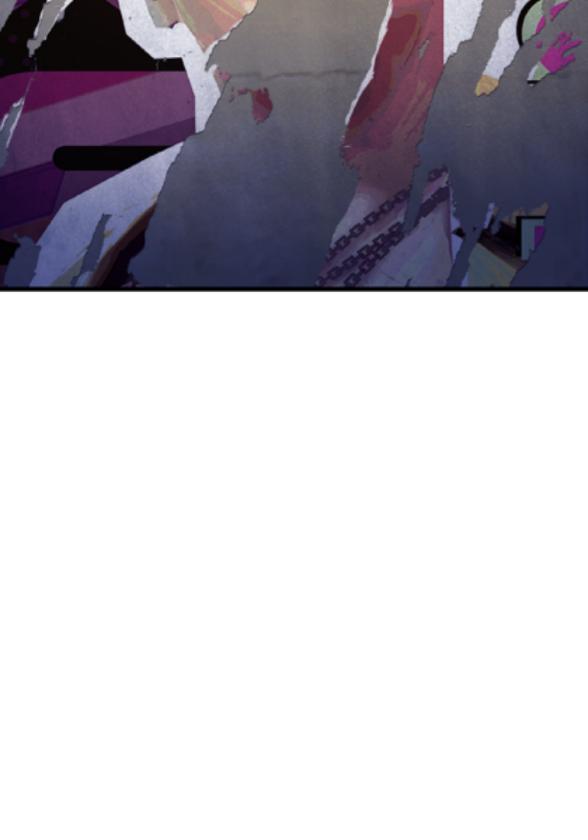
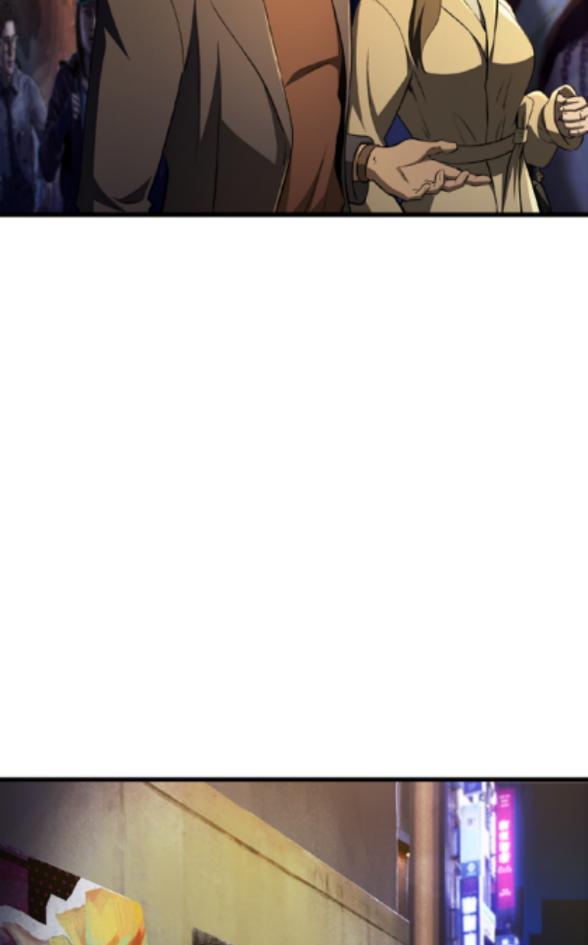
きれいな人だった



仕事でも
成功している



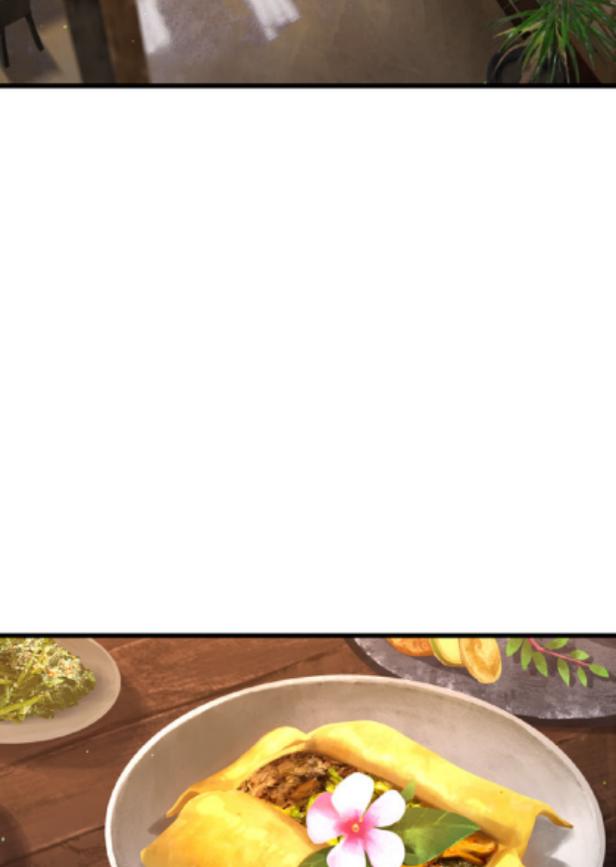
サンウオンが
会わせただったのも
そのせいだろう



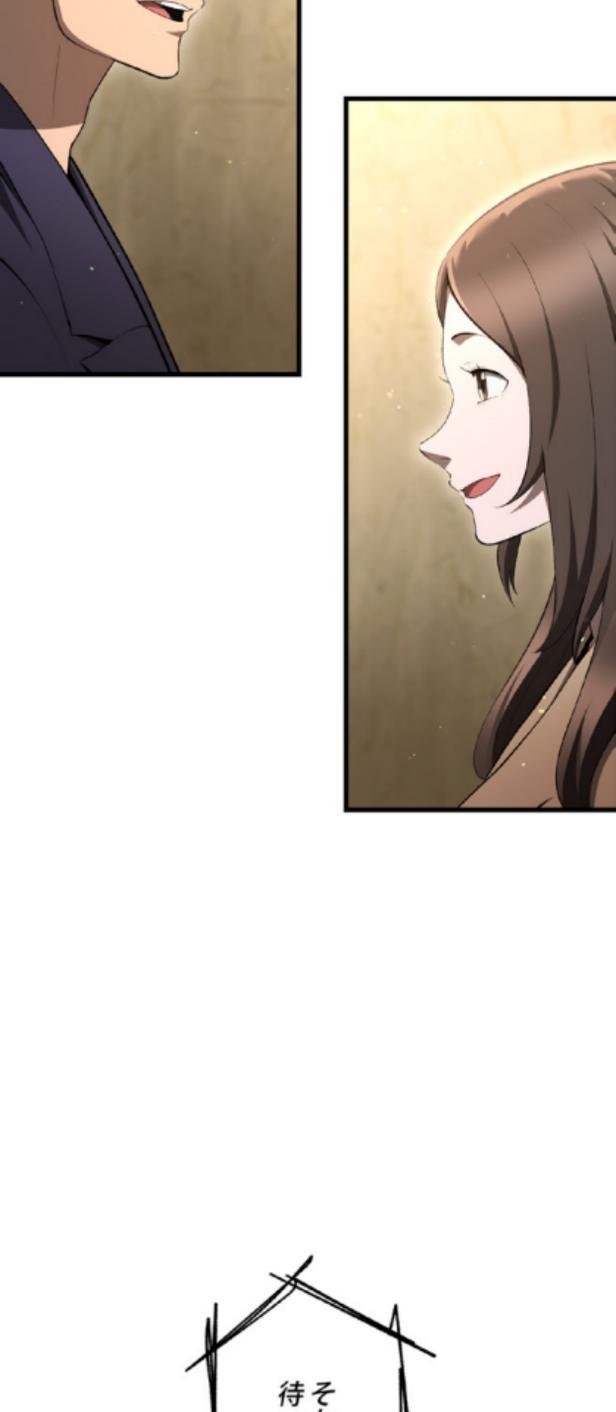
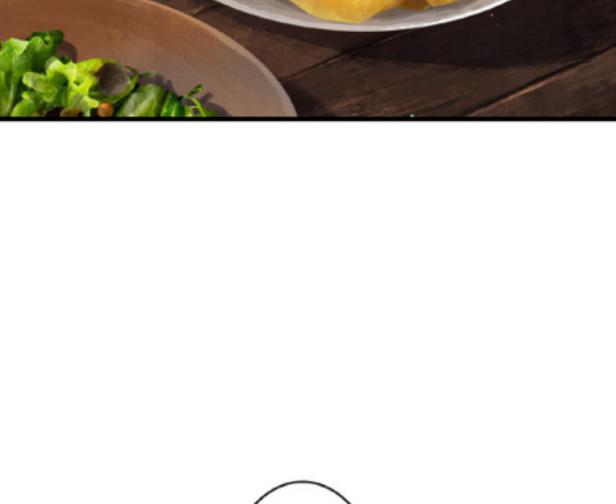
それで
どうだった？

普通さ
歩き回って…





ご飯を食べた



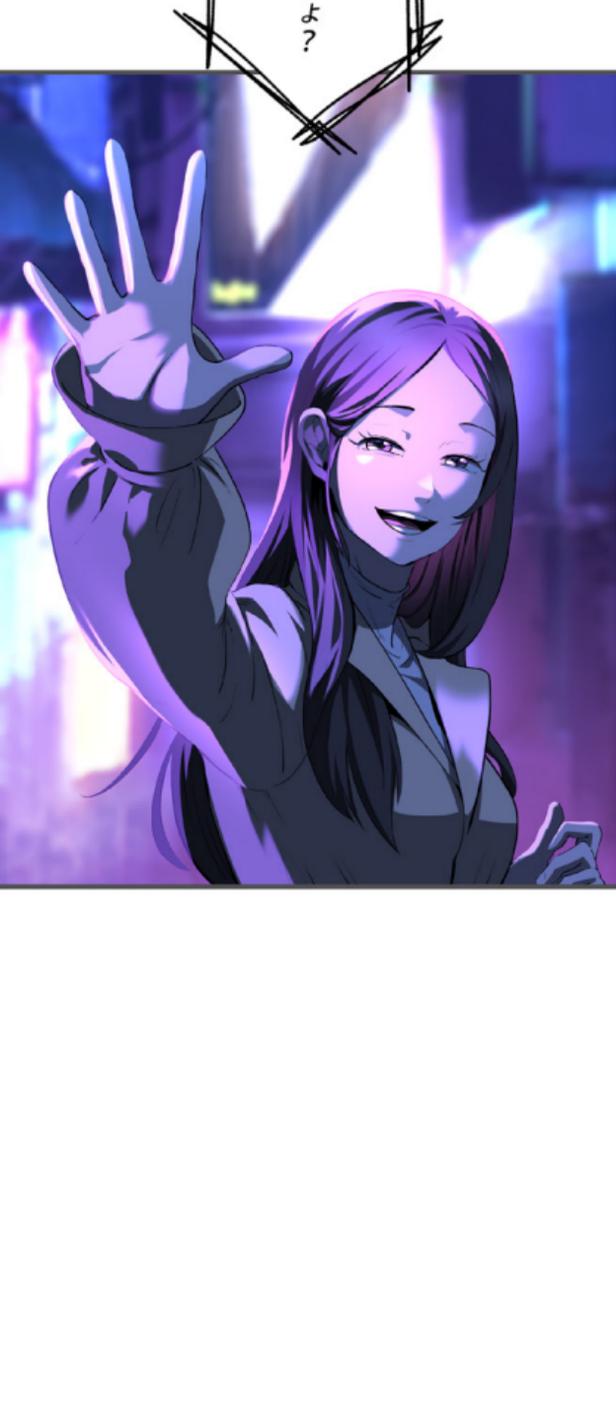
ご飯を食べた



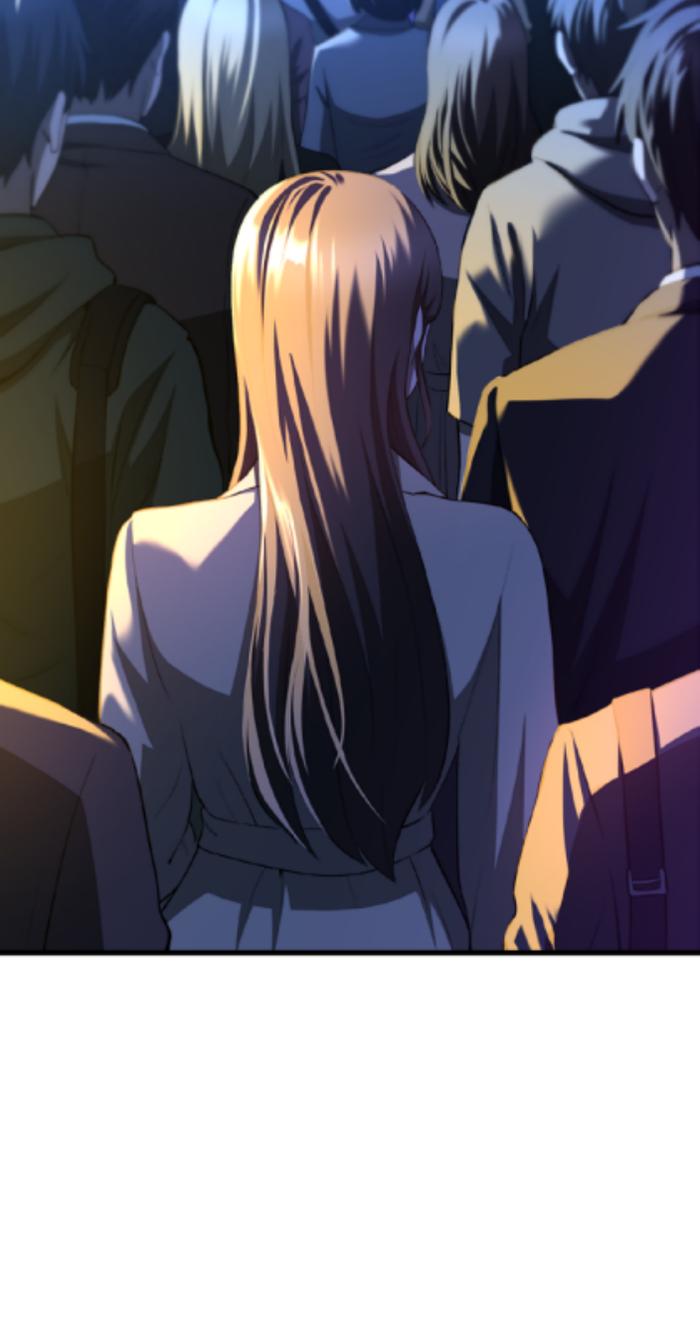
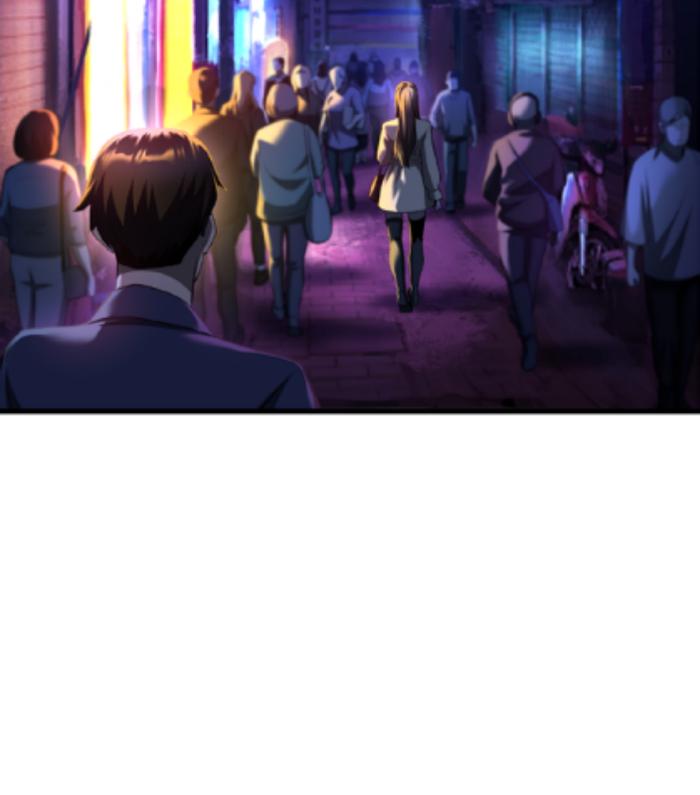
それだけ？
待ってよ！



もっとあるでしょ？



彼女が好きなんでしょ？



ただの女の子さ



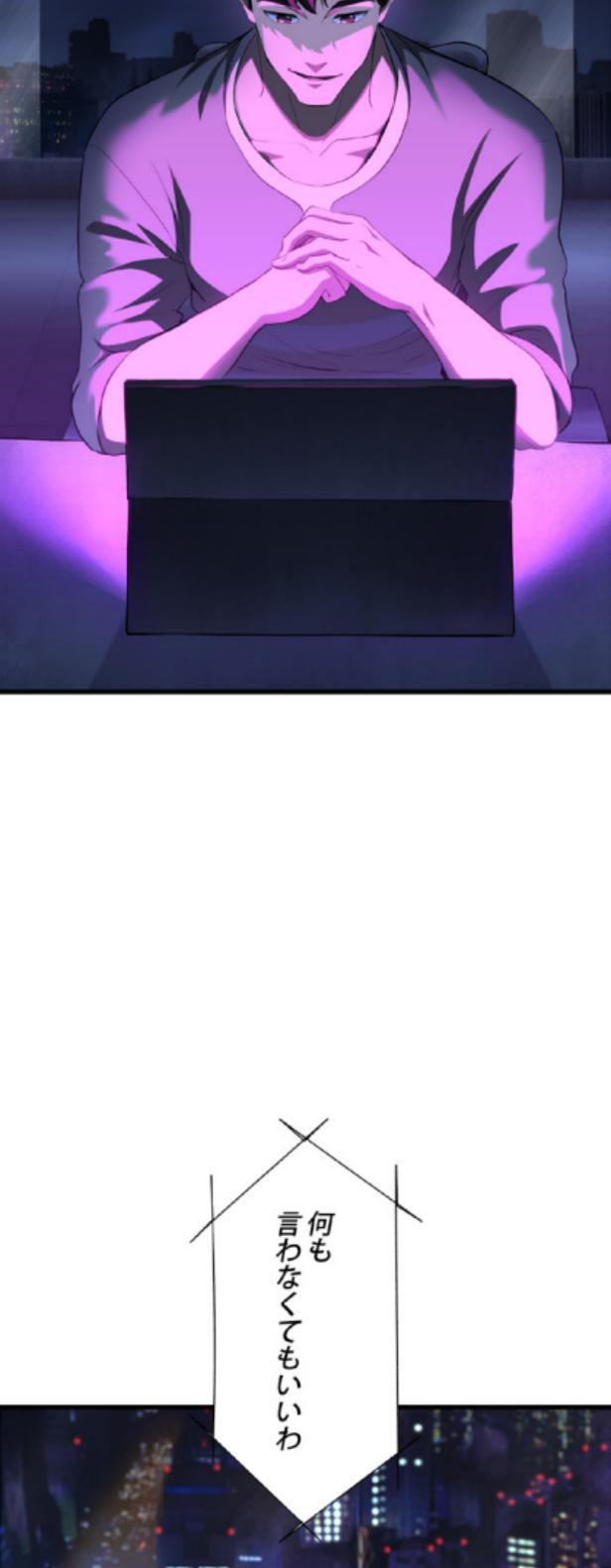
他の子と同じだ



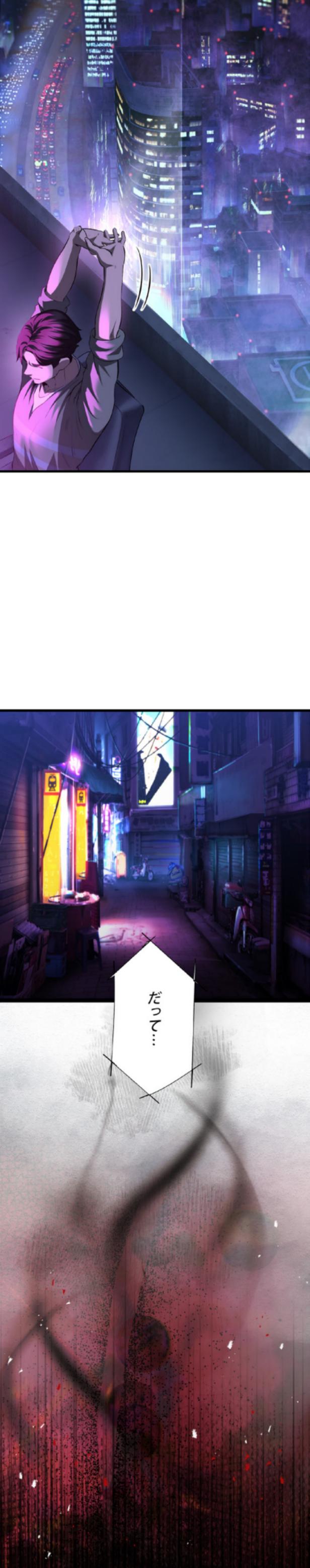
「包」の駒を8-7へ…



今回は
僕の勝ちみたいだ



何も
言わなくてもいいわ



だって…



すぐに彼女に
会えるだろうから！

